

5/16 木曜

平和で豊かな沖縄実現へ

本土復帰51年 デニー知事コメント



1972年5月15日に沖縄が本土復帰してから51年で51年となりました。玉城デニー知事はコメントを発表しました。

表し、「庶民が眞に幸福を実感できる平和で豊かな沖縄の実現を目指して、全員金靈を注いであります」と強調しました。

太平洋戦争末期に住民を巻き込んだ悲惨な地上戦

で20万人以上が犠牲となつた沖縄は、戦後27年にわたり米軍統治の苦難の歴史

を経て本土復帰しました

が、現在もなお米軍基地が集中。名護市辺野古では田

地建設が強行されています。

太平洋戦争末期に住民を巻き込んだ悲惨な地上戦

で20万人以上が犠牲となつた沖縄は、戦後27年にわたり米軍統治の苦難の歴史

を経て本土復帰しました

が、現在もなお米軍基地が集中。名護市辺野古では田

地建設が強行されています。

太平洋戦争末期に住民を巻き込んだ悲惨な地上戦

で20万人以上が犠牲となつた沖縄は、戦後27年にわたり米軍統治の苦難の歴史

を経て本土復帰しました

が、現在もなお米軍基地が集中。名護市辺野古では田

地建設が強行されています。

太平洋戦争末期に住民を巻き込んだ悲惨な地上戦

で20万人以上が犠牲となつた沖縄は、戦後27年にわたり米軍統治の苦難の歴史

題、北朝鮮の相次ぐミサイル発射といった世界情勢にふれ、「このようなか、他国との地域間交流等により友好的なつながりを持つことは、両国間の緊張緩和と信頼関係の構築に寄与するものであり、平和の樹立があつてこそ安定的な経済活動の推進に繋がるものと考えている」と指摘しました。

ライナ侵略を口実にした岸田文雄政権による大軍拡で、敵島地攻撃が可能なマサウエー配備や軍備増強が狙われています。

そのため沖縄県として、平和構築に貢献する独自の地域外交を開拓していくと強調。「平和を希求する先人たちの思いを引き継ぎ、未来を生きる子や孫たちによりよい未来を創造す

る」と述べています。